ようてい農業協同組合

|  |  |
| --- | --- |
| 県名・JA名・ | 北海道・JAようてい |
| 団体名 | JAようていGAP団体認証取得グループ |
| GAP認証品 | ばれいしょ |
| 認証GAP | JGAP |
| 認証GAPを選択した理由 | 取引先からの要請 |
| 構成員 | 22名 |
| 認証取得日 | 令和元年11月29日（認証更新：令和2年11月24日） |
| 認証取得の目的・目標 | 取引先への継続的な出荷 |
| GAPへの取り組みを機に改善が図られた点・取り組んで良かった点 | ＜生産者＞  ・倉庫の整理整頓、農薬管理、燃料保管管理について法令を意識するとともに各種リスクの危険性について認識するようになった点  ＜関連施設＞  ・トイレの手洗い後の手拭きはペーパータオルに変更し、衛生面での改善が図られた点  ・燃料保管に関する理解ができた点  ・農産物を管理することに対する食品安全性の意識向上  ＜全体＞  ・他部署業務の理解や情報共有ができた点。  ・各種法令について改めて認識することができた点  ・コンタミネーションや残留農薬事故の低減及び追跡が可能となった点  ・農薬や肥料の在庫管理の意識が改善された点  ・農場内や圃場のリスクを洗い出しによる意識改善が見られた点  ・廃プラ、残渣等の適正処理ができるようになった点  ・GAP取得農産物の販路拡大 |
| 取り組みにあたり苦労した点 | ＜事務局（全般）＞  ・事務局の情報共有及び生産者への指導法の統一（構成員が町村をまたがり担当者が異なるため）  ・現場に合わせたマニュアルの作成  ＜事務局（内部監査）＞  ・担当者間での統一した見解での内部監査の実施  ・他業務がある中での内部監査実施者の確保とスケジュール調整  ＜生産者＞  ・倉庫の整理・整頓  ・各種資料の記帳  ＜関連施設＞  ・施設責任者から理解を得られること |
| 認証取得にあたり不足していたと感じる点 | ＜事務局＞  ・管理基準の内容の理解  ＜生産者＞  ・管理基準の内容の理解 |
| 今後のGAPの展開の考え方（認証取得以外を含む） | ・JA独自のGAPの取組を継続して実施し、取組の意義を浸透させていくことを重点的に実施 |
| 営農指導、購買事業とGAPとの結び付け | ・営農指導担当者と生産者の情報共有の円滑化 |
| 今後の課題 | ・農業者自らGAPを実践していくための農業者の意識改革  ・認証費用の負担方法  ・GAP農産物価格への反映  ・認証にあたり行政含む農場への支援  ・GAPの認知度向上 |